



Weekly

尾張旭 ロータリークラブ

・会長 古橋エツ子 ・幹事 森井 晴生 ・クラブ会報 桜井 雅博
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : jimmu@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org



本 日 第2174回 2015年11月13日(金) No. 2059

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:丹羽 敏行 君

点 鐘

卓 話: "

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

演 題:「 未定 」

前 回 第2173回 2015年11月6日(金) 記 録

○齊 唱 : 「君が代」・「奉仕の理想」
職業奉仕委員会 四つのテスト

○来訪者 : 地区ロータリー財団委員会
副委員長 中林 正人君
(名古屋空港RC)

出席者 : 会員21名中17名出席 出席率80.95%
前々回補正出席率 10月10日分95.24%

気な姿で安堵しました。術後の抗ガン治療のため痩せたようですが、治療が終了した半年前から元に戻り、現在は定期的な検査のみとなり、医師に完治の早いタイプと言われたそうです。ただし、お酒やハム・ソーセージ・ベーコンなどの加工食品は禁止されており、お酒がちょっと残念そうでした。RCの皆さんのことを聞かれ、皆さんお元気なこと、ガバナー訪問のこと、10日から被災地を訪問すること、来年は45周年記念であることなど、気付いたら3時間ずっとお喋りしていました。帰りに、陳さんから「尾張旭RCの皆さんに、くれぐれもよろしくお伝えください」とのメッセージとお土産もいただき、次回の再会を互いに願いつつ帰路につきました。

会長あいさつ 古橋エツ子

お礼が遅くなりましたが、10月のガバナー訪問では、前日から当日まで皆さんのご尽力により無事に進行できましたこと、ありがとうございます。生演奏で指揮者付きということを褒めていただきましたことも、嬉しく、誇らしかったです。

ところで、11月1日まで台湾の国立政治大学で開催の国際シンポジウムに出席していました。ちょうど良い機会でしたから、2013年度の米山記念奨学生だった陳さんに会おうと連絡をしたら、「私も、国際シンポジウムに出席したいです」とのこと。そこで手続きをして一緒に出席をすることとなりました。国際シンポジウムは、日本・韓国・台湾・マレーシアの4カ国の研究者が「福祉国家における人権」をテーマに報告と討論が行われました。私は事前の理事会への出席を始め、シンポジウムは1日中英語でしたから少々緊張気味でしたが、ようやく慣れてきたところで終わりました。

陳さんとは約2年振りの再会でしたが、以前の元



会長と元米山記念奨学生
陳 淑凜さん(右)



ロータリー財団月間

	11月20日(金)	11月28日(土)	12月 4日(金)	12月 5日(金)
例 会 予 定	卓 話担当者:西尾 輝久君 卓話者:山田デンタルクリ ニック院長 山田 博之様 演 題:「親不知」	27日(金) 振替 IM (12RC合同例会) 於犬山ホテル	卓話担当者:富田 晃君 卓話者: " " 演 題:「人生あれこれ」 年次総会	1 1日(金) 振替 留学生交流会 於 雅味 担当:45周年実行委員会

おめでとう

結婚記念日祝福：

11月 5日 桜井 雅博君

誕生日祝福：

11月11日 富田 晃君

11月28日 飯田 幸雄君



△今月の祝福の皆さんです。

幹事報告

- ・10/25 尾張旭市地域活動連絡協議会 設立40周年記念講演会 於尾張旭市文化会館 加藤副会長出席
- ・10/30 地区社会奉仕委員長会議 於 名鉄グランドホテル 菊田社会奉仕委員長出席。
- ・10/30 創立45周年実行委員会 於商工会 箕輪実行委員長以下5名出席
- ・本日の会合：第8理事役員会、指名委員会
- ・次回の会合：第4回OFDY委員会
- ・例会変更のお知らせ：掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○誕生日を祝っていただき

飯田 幸雄君、富田 晃君

○地区ロータリー財団委員会 副委員長の中林正人さんをい迎えて

古橋エツ子君、森井 晴生君

○ガバナーをお迎えしての4RC合同例会では、前日より準備などありがとうございました。皆様のご協力に感謝です。 古橋エツ子君

○地区ロータリー財団委員会 副委員長の中林正人さんをい迎えて 飯田 幸雄君

○地区ロータリー財団委員会 副委員長の中林正人君、ようこそ、財団についての話を楽しみにしております。 加藤 清久君

舟橋 龍秀君、古橋 裕志君、山田 直樹君
○ギャップさん、ようこそ。芸術の秋のまったなかの中で頑張ってください。 丹羽 敏行君

○加藤清久君、ありがとうございました。

江尻 豪君

○加藤清久副会長以下11月1日親睦会

出席者一同

第8回理事役員会報告

日時 2015年11月6日（金）13:40～

場所 尾張旭市商工会館内 第一会議室

議題 1) 職場例会について

(古橋裕志職業奉仕委員長)

承認された。

2) 東日本被災地訪問について

(菊田社会奉仕委員長)

承認された。

3) 45周年記念事業について

(箕輪実行委員長)

・対象者 退会会員一年未満は除く

・祝儀は辞退する

・来賓はなし

4) R I 国際大会への参加について

(箕輪実行委員長)

登録者について説明があった

5) 商工会珠算大会協賛について

(井田青少年奉仕委員長)

承認された

6) 第30回尾張旭市ジョギング大会の協

賛について

協賛は見送りとする

7) 月見例会 会計報告について

(舟橋親睦活動委員長)

了承された

卓 話

ロータリー財団委員会

副委員長 中林 正人

「ロータリー財団の今と戦略計画」



2014-15年度 尾張旭ロータリークラブご寄付実績

2014-2015年度年次基金総額 4,642.89ドル

1人当たり年次基金寄附 185.72ドル

その他用途指定寄付 245.00ドル

ご寄付を有り難うございました。

1. 国際ロータリー (R I) とロータリー財団との関係

①ロータリーの3つの戦略計画

「クラブのサポートと強化」

国際ロータリーのロータリー財団

「人道的奉仕の重点化と増加」

R I の方針・戦略を受けてR財団

「公共イメージと認知度の向上」

は具体的活動を推進する。

②ロータリー財団の優先項目（2015年7月以降3年間）

1. 永久にポリオを撲滅する。
 2. R財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付の向上。
 3. 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
 4. ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。
2. ポリオプラス（ナイジェリアでの快挙 ポリオのない1年）
- WHOは、ナイジェリアを常在国リストから解除（2015年9月25日付）
- 残り、パキスタンとアフガニスタンの2か国となりました。さらにアフリカ全体でも、昨年8月11日以来、野生型ポリオの発症がなく、この状態が3年続くとアフリカのポリオフリーが認定されることになり、世界の公共保健における歴史的な偉業となります。
- 「あとすこし！」2017年には世界からポリオを撲滅しましょう！
- 「奉仕のためにお金を出し、奉仕のためにお金を使う。」
- 「世界で良いことしよう。」
- ロータリー財団は皆さんの財団です、今後とも宜しくお願い致します。

地区大会

東海道新幹線とリニア中央新幹線

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役名誉会長
葛西 敬之



皆さんこんにちは、実は、昨日、日本経済新聞の「私の履歴書」執筆が終了しました。

本日は、標記講演のテーマを3区分、

- 1 国鉄時代
- 2 民営化後
- 3 これからどうするか

についてお話しいたします。

① 国鉄時代

昭和39年10月1日、新幹線開通、今年で52年になり、年々、技術力、体力共成長し「鉄道の革命」と言われていますが、これは、社員全員、「みんなで一緒にやってきた」成果と考えています。従来の国鉄経営は、乗客や貨物等、総合的に勘案、路線の新設延長を図ってきましたが、この新幹線は、東京ー大阪間を在来線の6.5時間を3.0時間に、速度200km/h以上、経済効果のみ追求し、すべての常識を破り専用客車とした世界がびっくりする、ブレークスルーする構想でした。

そして、これが実現、50数年経過した今日でも、未だ、世界が追いつけない技術的成果を得ています。（台湾の高速鉄道は、日本の新幹線の輸出）

旅客専用車、ATC（自動列車制御装置）、CTC（列車集中制御装置）、専用路線の安全制御、事故、故障があれば改善する発想でない、予防措置を処した、高速、高頻度、大量輸送が安定的に実現できる鉄道でありました。

企画構想が発表されたとき国鉄は大反対、開業1年前でも「東京ー大阪のみでは駄目でないか」の声が大きかった、しかし、逆に日本の10%の面積、20政令都市のうち12都市を通過、人口の60%がその周辺に住む、成功の自信がありました。

航空機に対する不安を心配する人もいましたが、航空機は拠点間を結ぶ機能、新幹線は高頻度輸送、各拠点乗降の自由さをと、仕分けして説明することができました。

そして、開業、現在まで50年、21億km走行して死亡事故0の輝かしい記録を創ることができました。

国鉄時代の23年間は、技術的な進歩を目指さず安定運行、運行本数増大に尽力し、昭和45年の新幹線整備法により、国が建設、JRがリースを受ける方式が確立、昭和47年3月岡山まで、50年3月博多と整備され、新しい産業基盤を確立させて昭和62年の分割民営化となりました。

一方、経営面は、開業から24年、輸送力が限界に近づき（車両間隔は4分が限界、1時間15本、大井の車両基地に入れることを考えると、11本）設備も10年間保証されていましたが、以降は問題がでるか、また、羽田空港が整備され航空機との競合も激しくなって様々な問題が生じていました。

新幹線が稼いだ利益は、全国、20,000kmの赤字路線に充填されていました。（新幹線は100円の収入、原価は50円でした）

国鉄分割の際、他の新幹線建設の費用分担、官僚の方々の利益確保要求等、大いに苦勞いたしました。

(2) 民営化後

昭和62年、民営化。

9000億円の収入、900億円の利益、70

0 億円のキャッシュフローで、スタート、自立経営できる態勢ができました。

そこで、これからの目標として、従来の国鉄時代の路線延長概念を払拭、機能面の充実をテーマに、東京ー大阪間3.0→2.5時間の実現を設定しました。

そのために、

- 1 車両の軽量化によるスピードUP。(900トンから700トン、騒音、振動問題の解決)
- 2 直流モーターから交流モーターへの変換。
- 3 ATCの近代化。

を図り、結果、1時間に18本走れる態勢ができた。軽量化により設備の損傷をおさえることができました。

また、設備等の保守点検、寿命延長の努力により相当の寿命を延長することができました。

さらに、毎日の安全運航管理、品川駅新築等による投資効果で収益向上を図ることができ、これを従来の在来線の投資に振り向け、合わせて経営基盤の拡充を図ることができました。

副次的に、名古屋駅周辺の変貌、新横浜の都市整備等実現でき大いなる経済効果、社会貢献ができたと自負しています。

結果、発足時より6割の収入増、700→5000億円の利益増加で経営基盤が改善され、この原資をもって「自前リニア中央新幹線」を計画実施することができました。

リニアの原点は、ドイツへ伊藤忠、三菱重工業の皆さんと見学に行ったときです。

宮崎へ実験線を13KM、山梨へ1000億円投資して43KMの実験線を創りました。

平成9年、252km/h、近々、581km/hの実績を踏み、現在、建設許可が出されました。

リニアに対しても、反対論等聞きますが、我々は、新幹線の輸送力飽和、自然災害の発生等考えれば必要なインフラであると考えています。

民営化から、現在の新幹線は、350k、700kと改良を重ねてきましたが、技術的限界に近づき、ブレークスルをする技術はリニアの他ありません。

(3) これからどうするか

将来に向かってあらゆる技術を見直す原点にたち挑戦する所存です。

また、世界に、新幹線の普及をめざし、人口分布、経済特性等、日本の条件と合致する箇所を調査し、テキサス州のヒューストン→ダラス、ワシントン→ニューヨーク、ワシントン→ボルチモア等、実現に向けて検討しているところです。

これからの我社、「リニア中央新幹線の開通」、JRが自分自身の金で開業させる決意。

幸い、民営化による借金も、東海道新幹線の利益で5.4兆円から2兆円を切っているので、リスク要因を解決しながらチャレンジ、将来に向けて頑張っただけゆきたいと考えています。ご清聴ありがとうございました。

注記 本件、加藤清久がメモ編集、若干、講演内容に相違があるかもしれませんが、大筋では

的を得ていると思いますので一読いただきますようお願いいたします。



△ 地区大会 開会式 於ウエスティンゴヤキヤル



△ 顕彰者 昼食会



△ 地区大会 本会議場内



△ 地区大会お疲れさん 於太閤本店